

図6 プラボー実験における各環礁での  $^{137}\text{Cs}$  沈着密度 × 距離の方位による変化

マーシャル諸島の主要な環礁又は島嶼における  $^{137}\text{Cs}$  沈着密度データは Beck et al (2010) に基づく。また、一部のデータ (印 (距離 300 ~ 1,000 km) のうち、ウェーク島、クサイエ島、ポナベ島及びエニウェトク環礁、並びに × 印 (距離 1,000 km 以遠のジョンストン島、ハワイ諸島、カントン島、イオージマ等) は、文献 (Breslin and Cassidy, 1955; List, 1955 等) から算出した値に基づく。

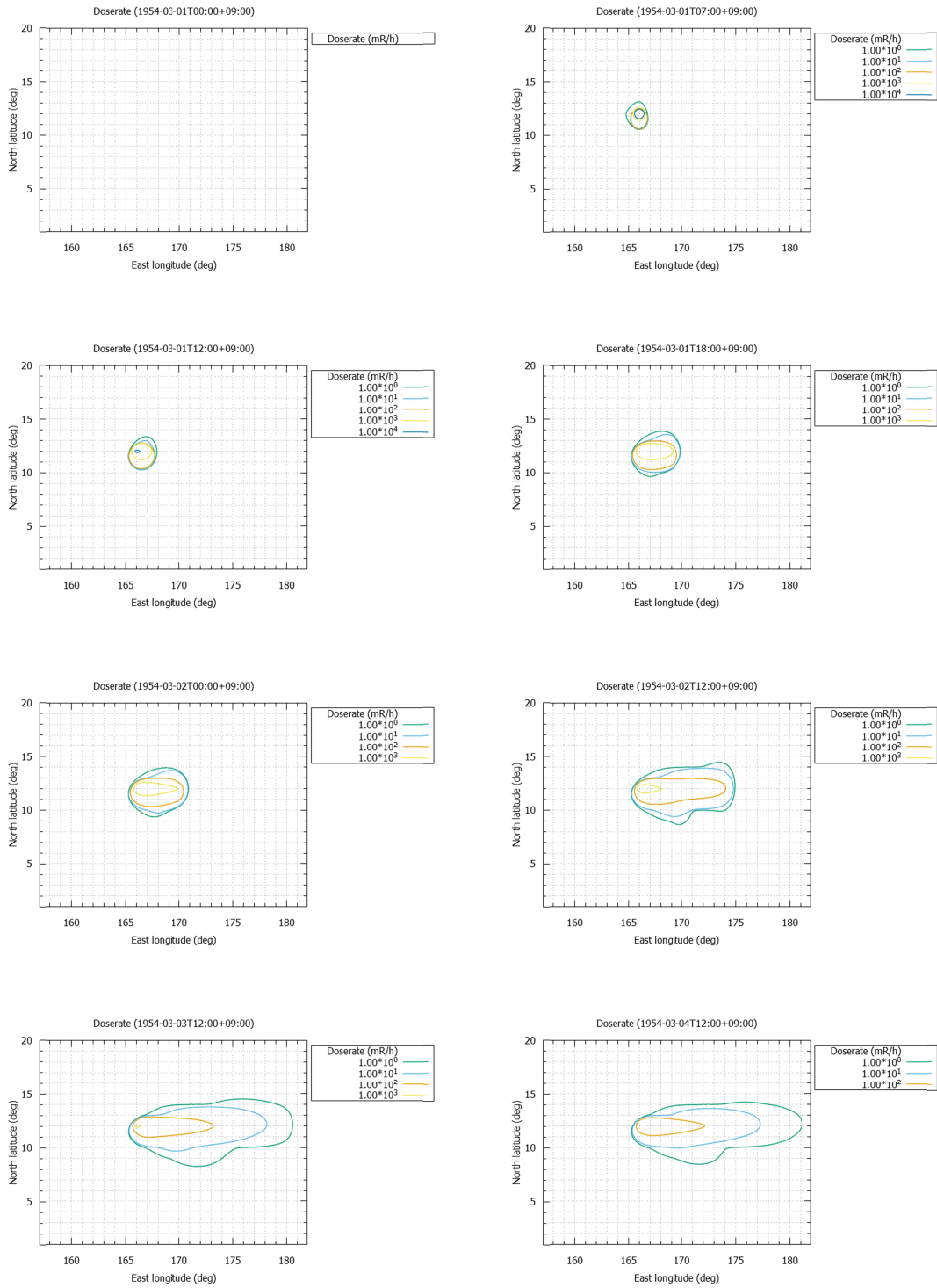


図7 DNAF-1モデルで計算したビカール環礁及びウチリック環礁方面の放射性降下物による線量率

(実験名：ブラボー，日本時間：1954年3月1日0:00～3月4日12:00)

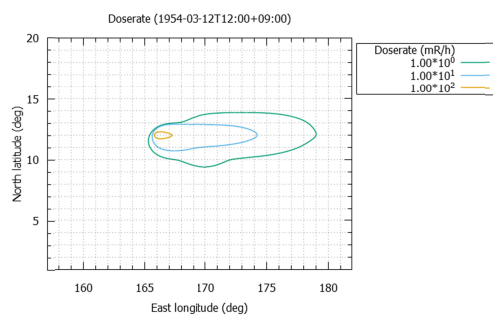
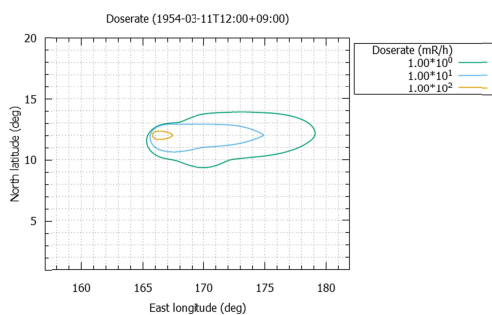
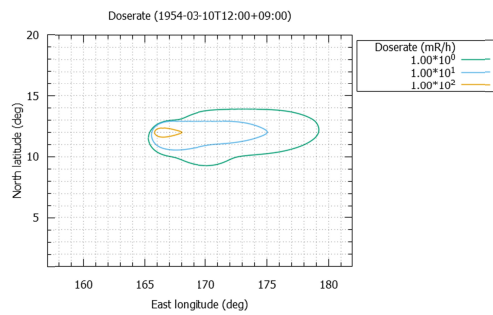
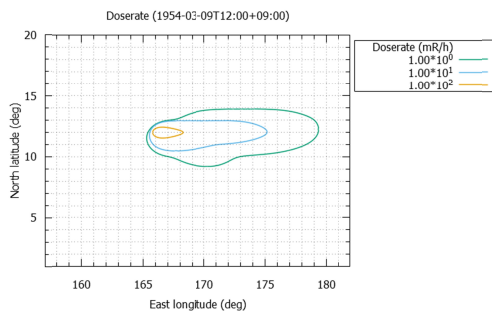
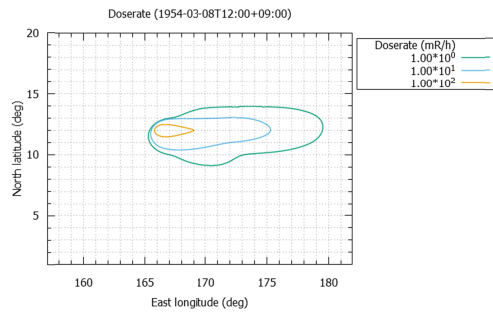
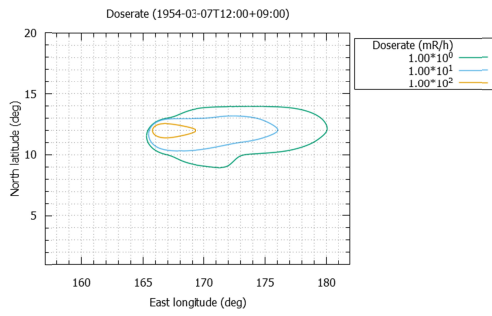
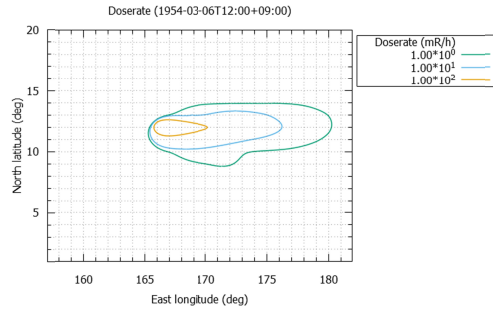
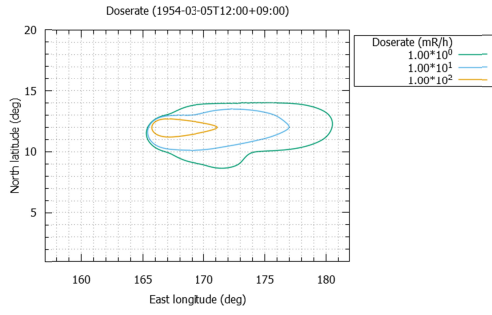


図7 ( 続き )

( 日本時間 : 1954 年 3 月 5 日 0:00 ~ 3 月 12 日 12:00 )

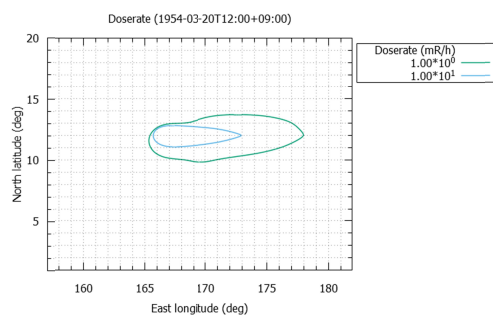
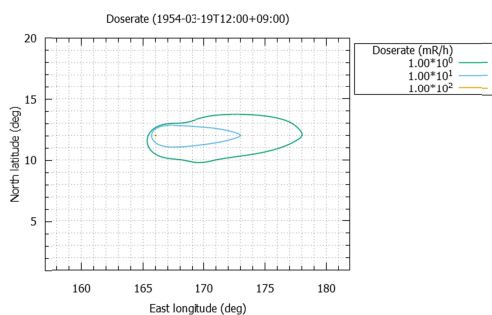
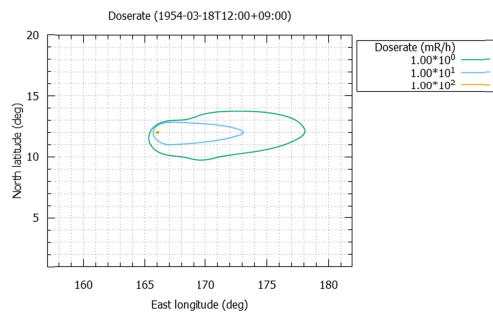
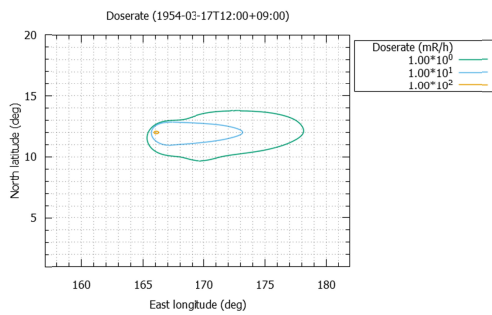
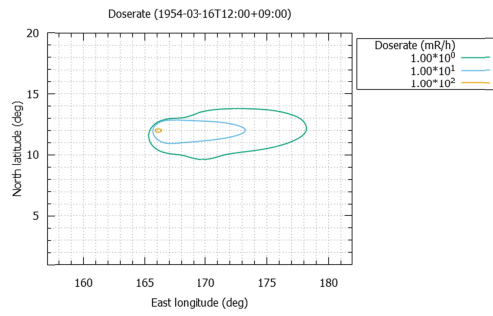
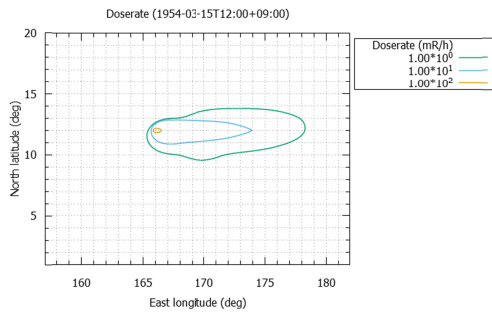
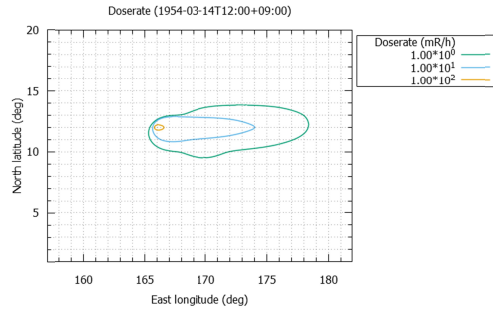
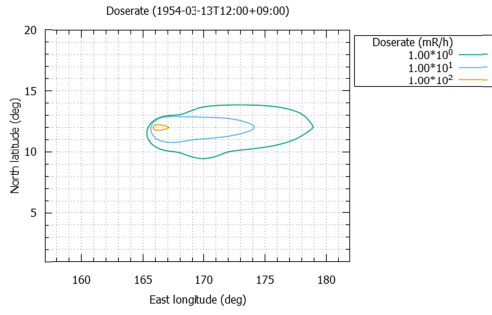


図7 ( 続き )

( 日本時間 : 1954 年 3 月 13 日 0:00 ~ 3 月 20 日 12:00 )

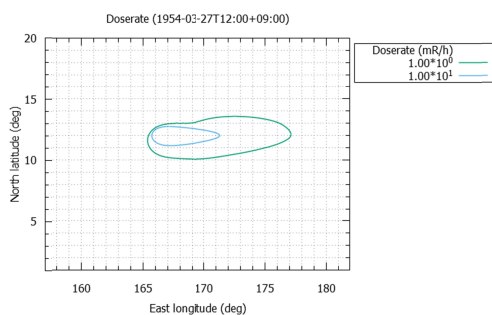
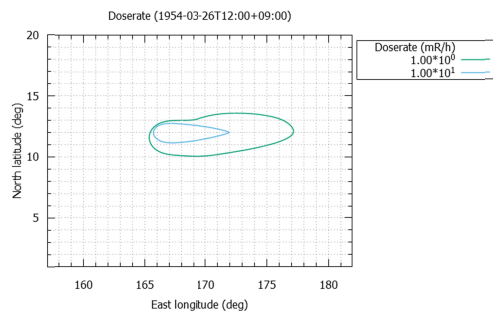
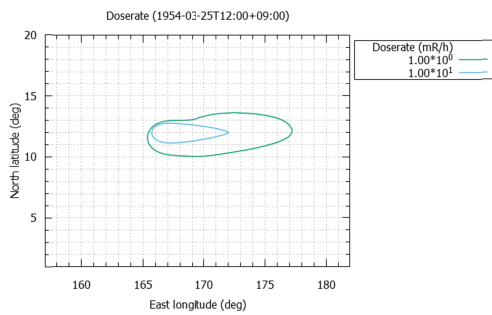
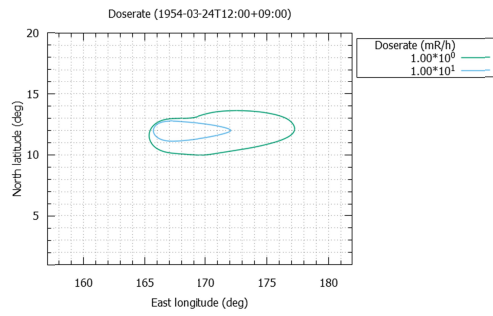
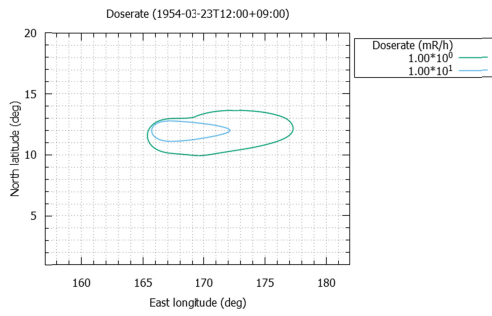
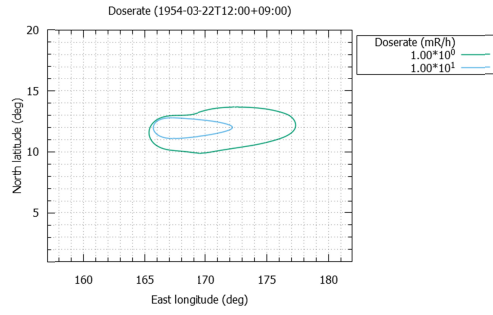
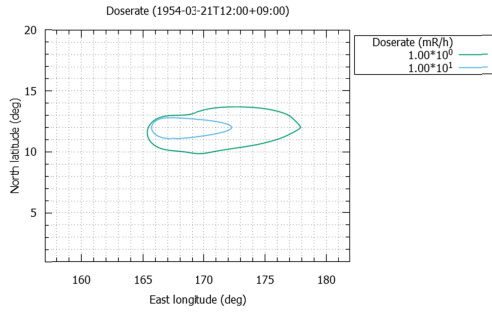


図 7 ( 続き )

( 日本時間 : 1954 年 3 月 21 日 0:00 ~ 3 月 27 日 12:00 )

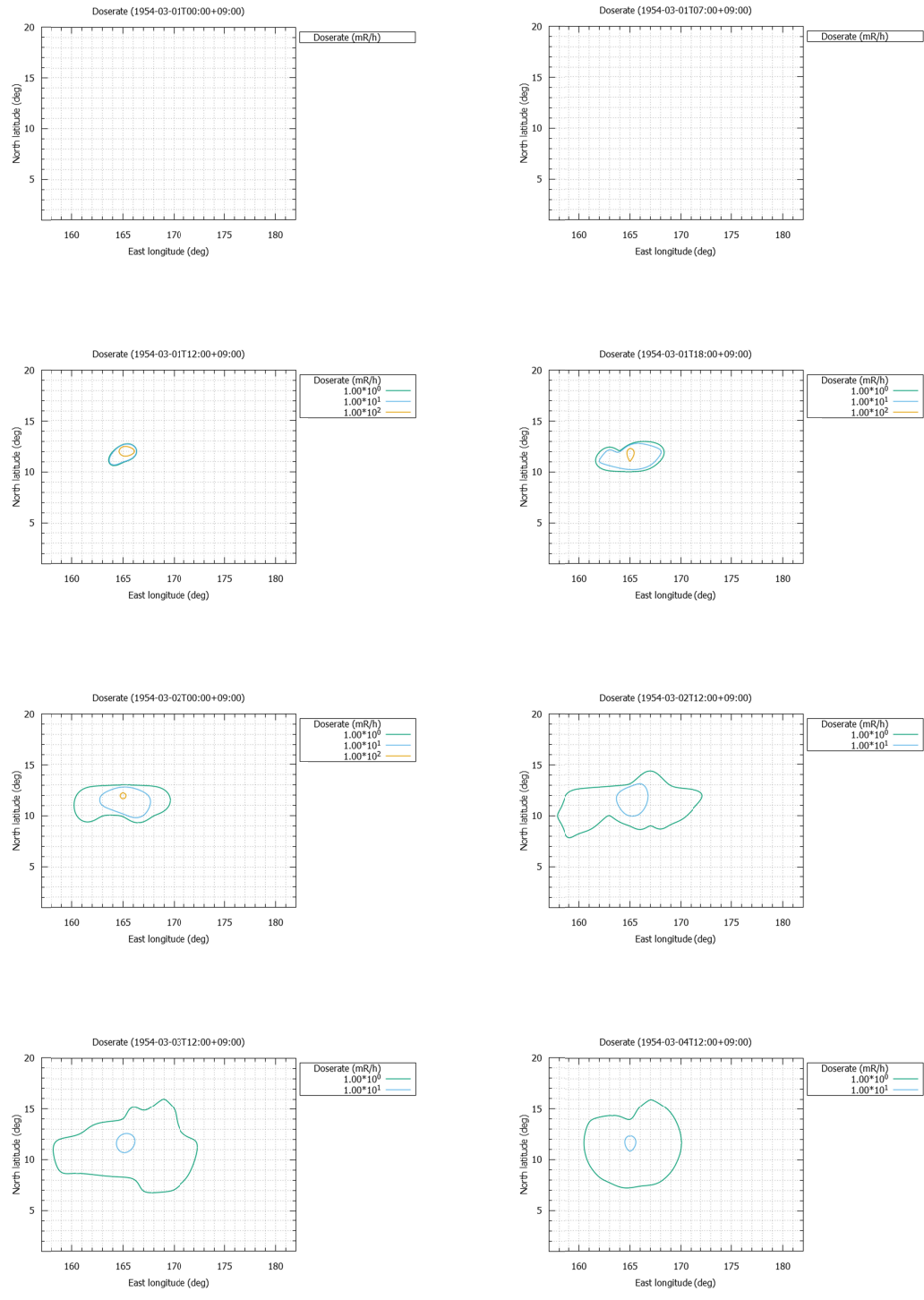


図 8 ガウスプルームモデルで計算した全方位一様成分の放射性降下物による線量率  
(実験名：ブラボー，日本時間：1954年3月1日0:00～3月4日12:00)

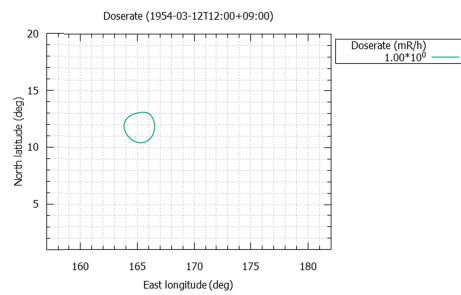
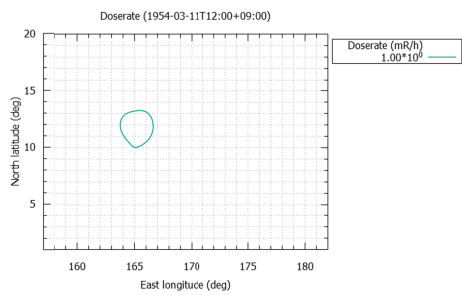
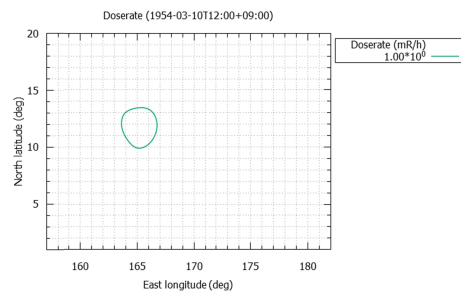
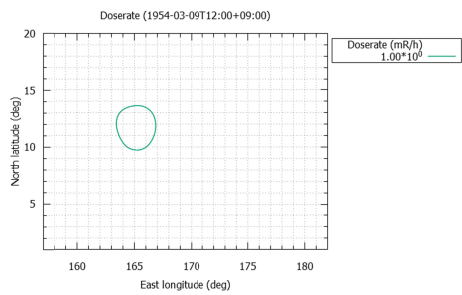
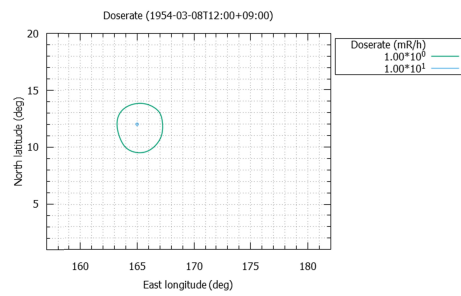
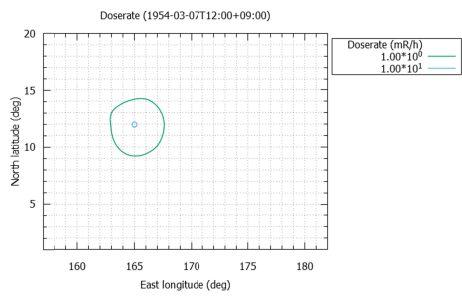
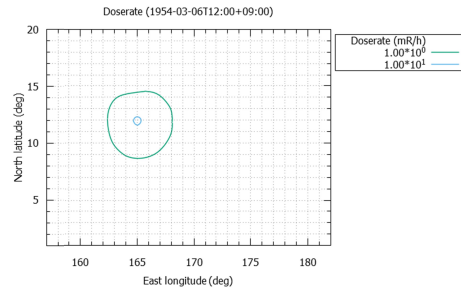
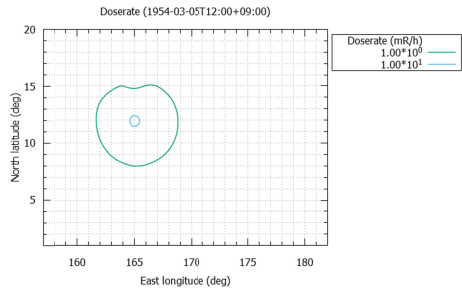


図 8 ( 続き )

( 日本時間 : 1954 年 3 月 5 日 0:00 ~ 3 月 12 日 12:00 )

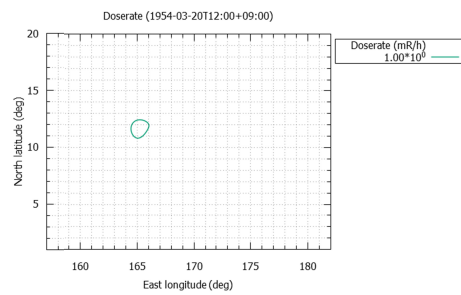
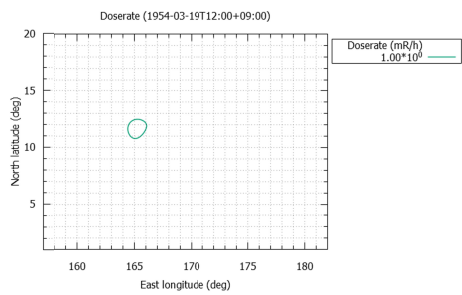
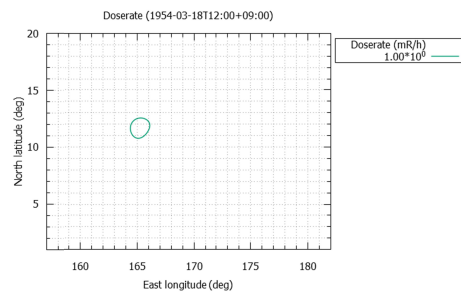
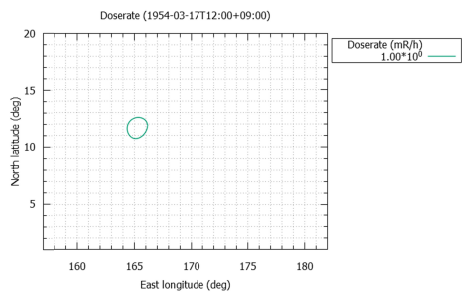
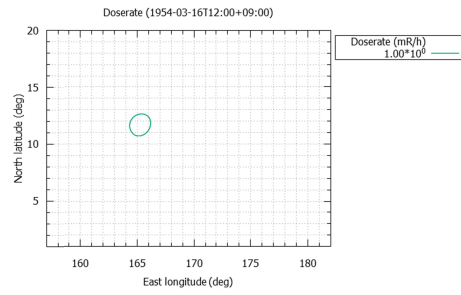
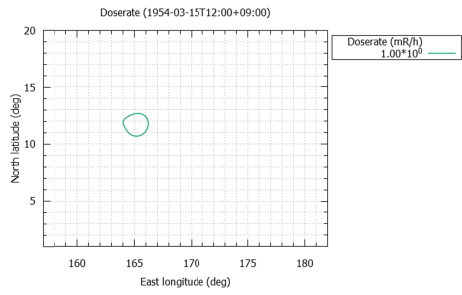
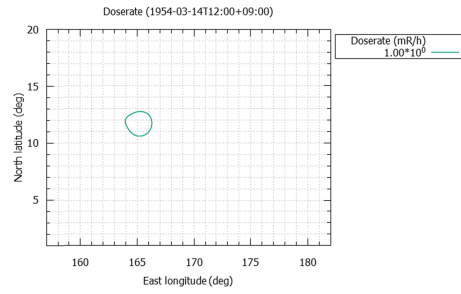
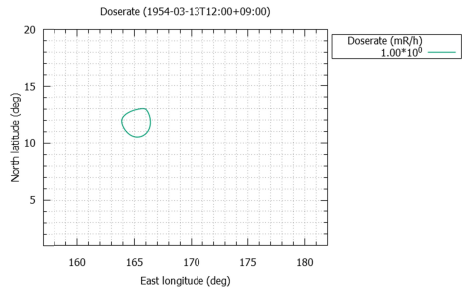


図 8 ( 続き )

( 日本時間 : 1954 年 3 月 13 日 0:00 ~ 3 月 20 日 12:00 )



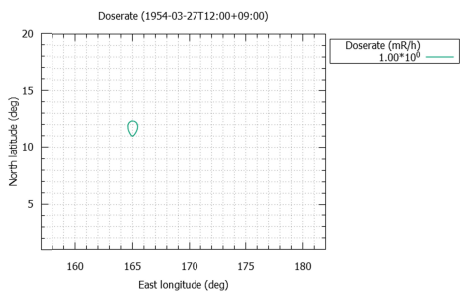
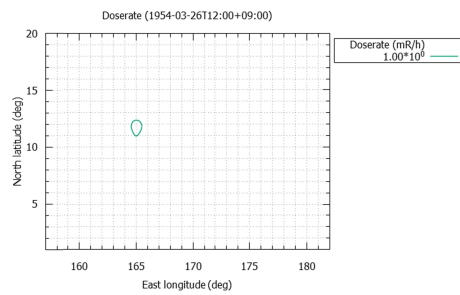
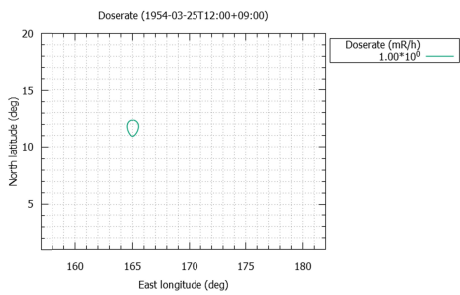
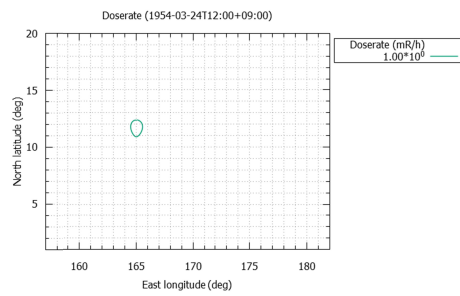
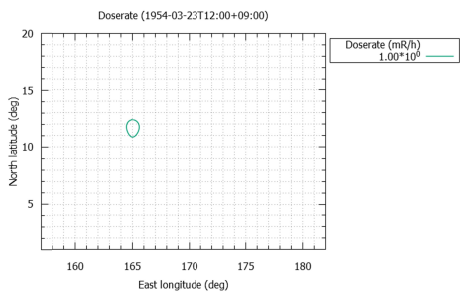
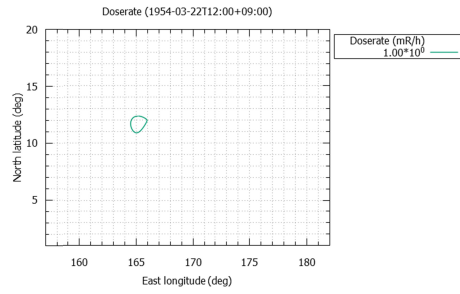
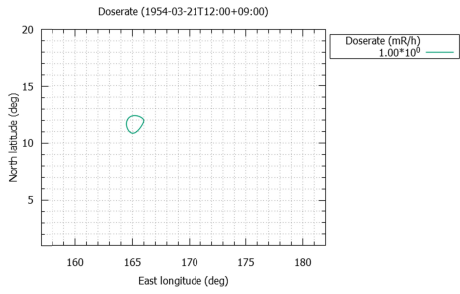


図 8 ( 続き )

( 日本時間 : 1954 年 3 月 21 日 0:00 ~ 3 月 27 日 12:00 )

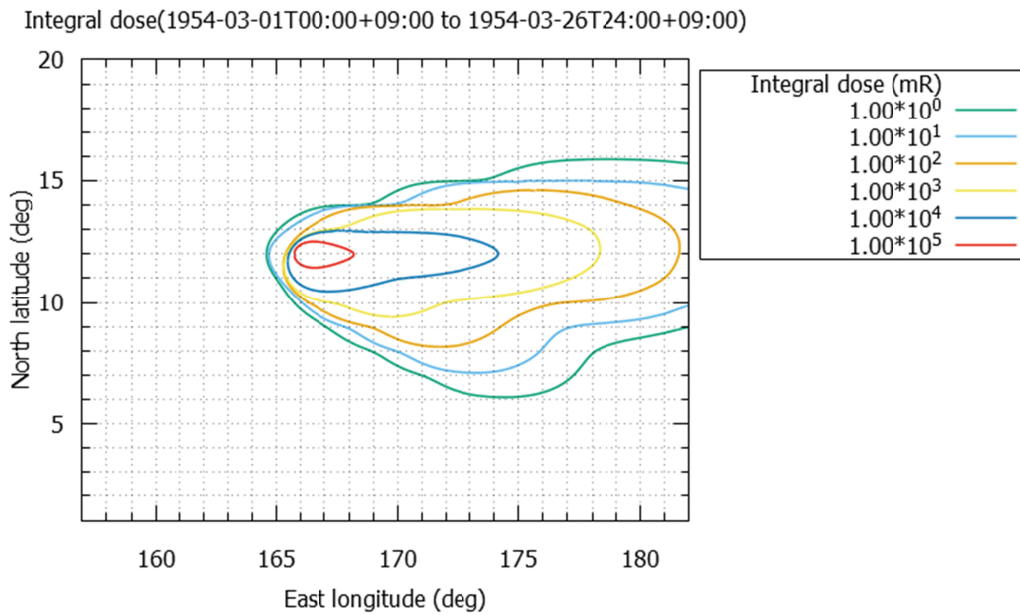


図9 DNAF-1モデルで計算したピカール環礁及びウチリック環礁方面の放射性降下物による線量  
(実験名：ブラボー，積分期間：日本時間1954年3月1日0:00～3月26日24:00)

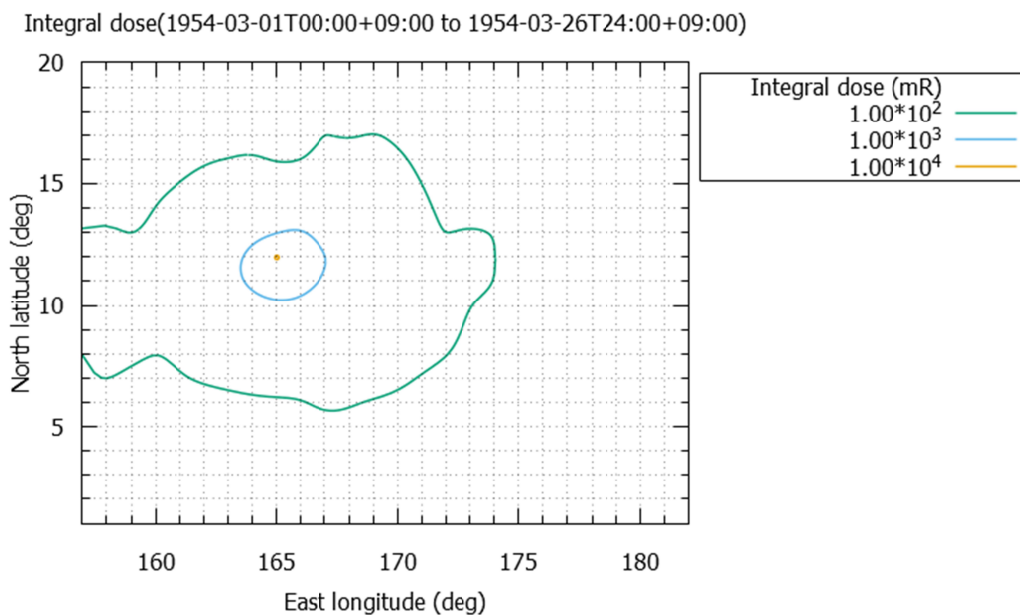


図10 ガウスブルームモデルで計算した全方位一様成分の放射性降下物による線量  
(実験名：ブラボー，積分期間：日本時間1954年3月1日0:00～3月26日24:00)

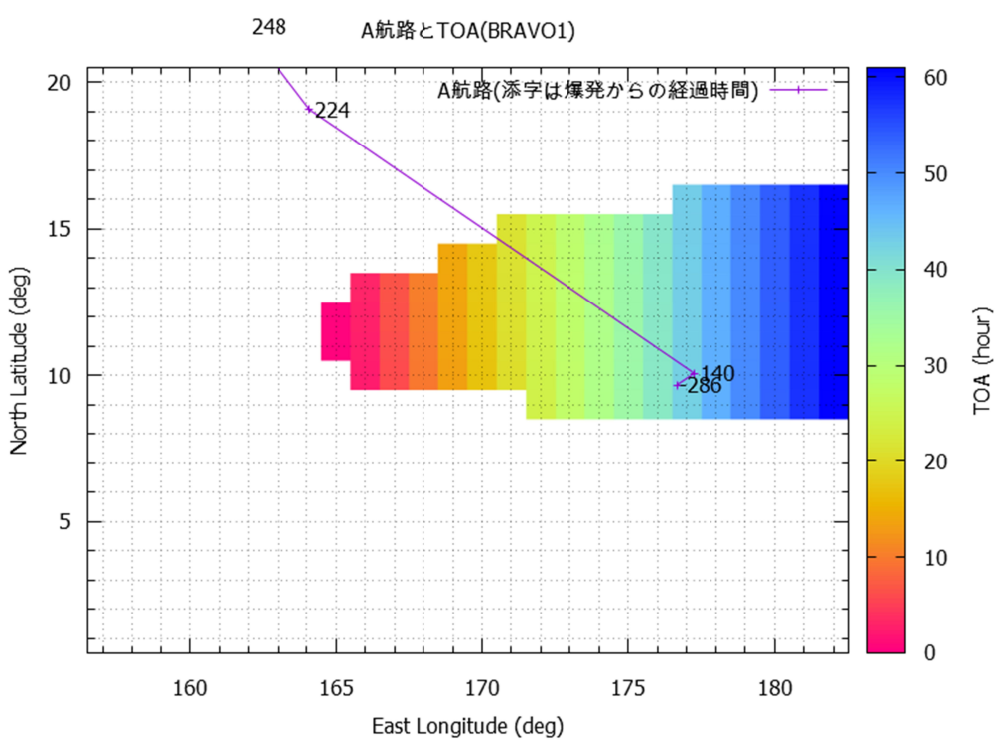
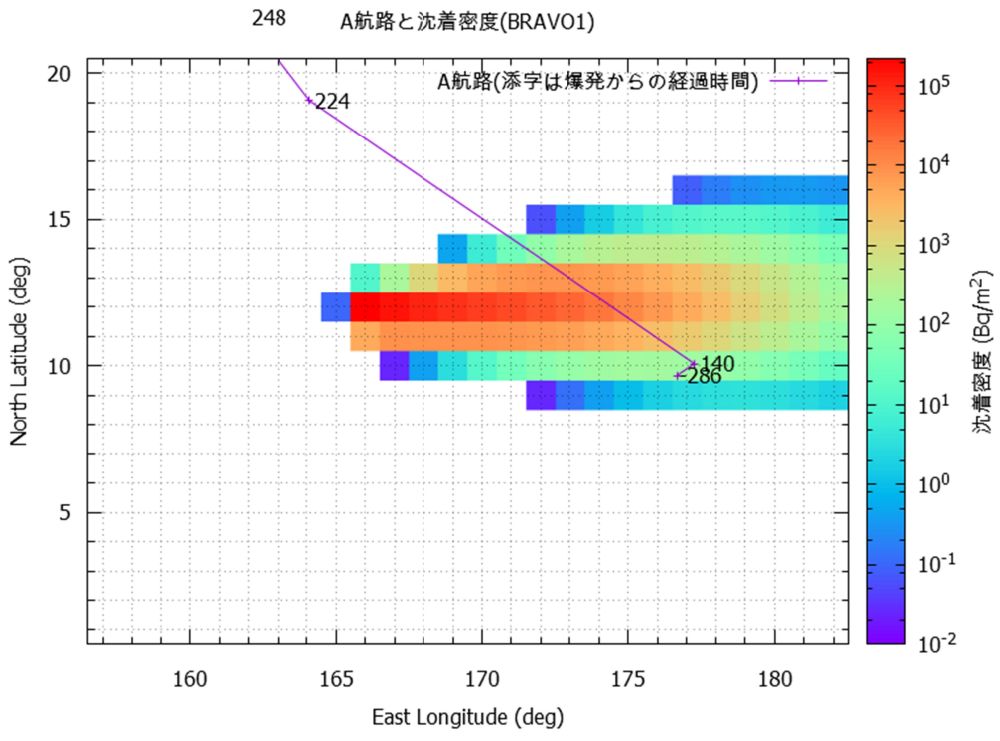


図 11 ブラボー実験における <sup>137</sup>Cs 沈着密度及び TOA (ピカール環礁方面の放射性降下物成分) と第十二高知丸の航路の重ね合わせ

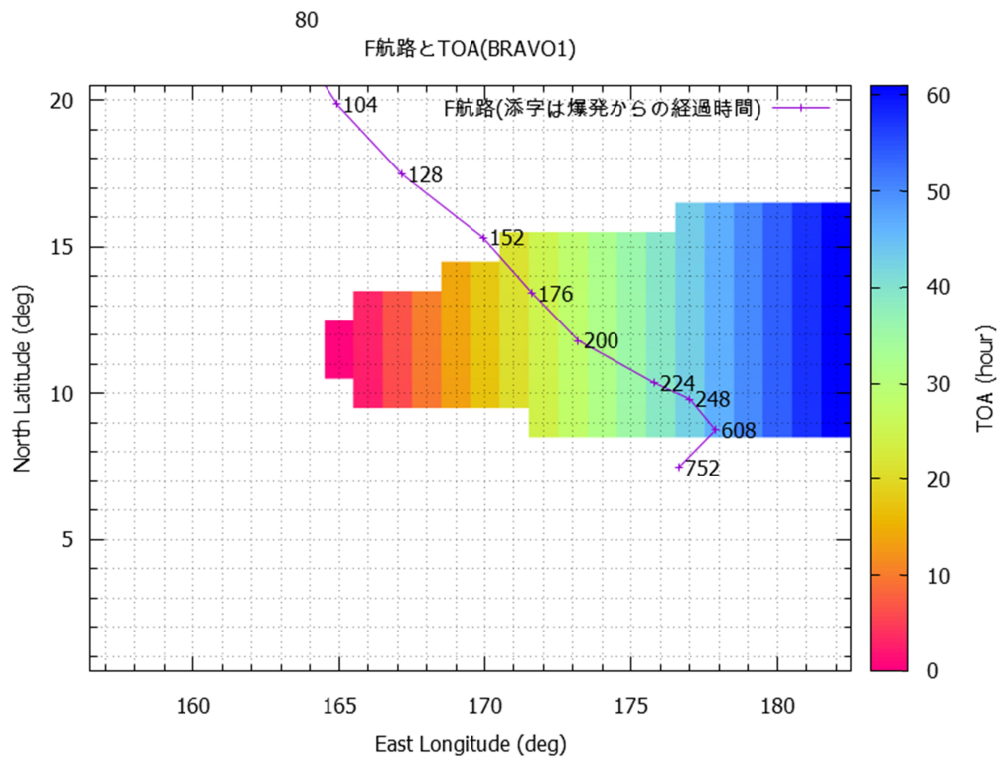
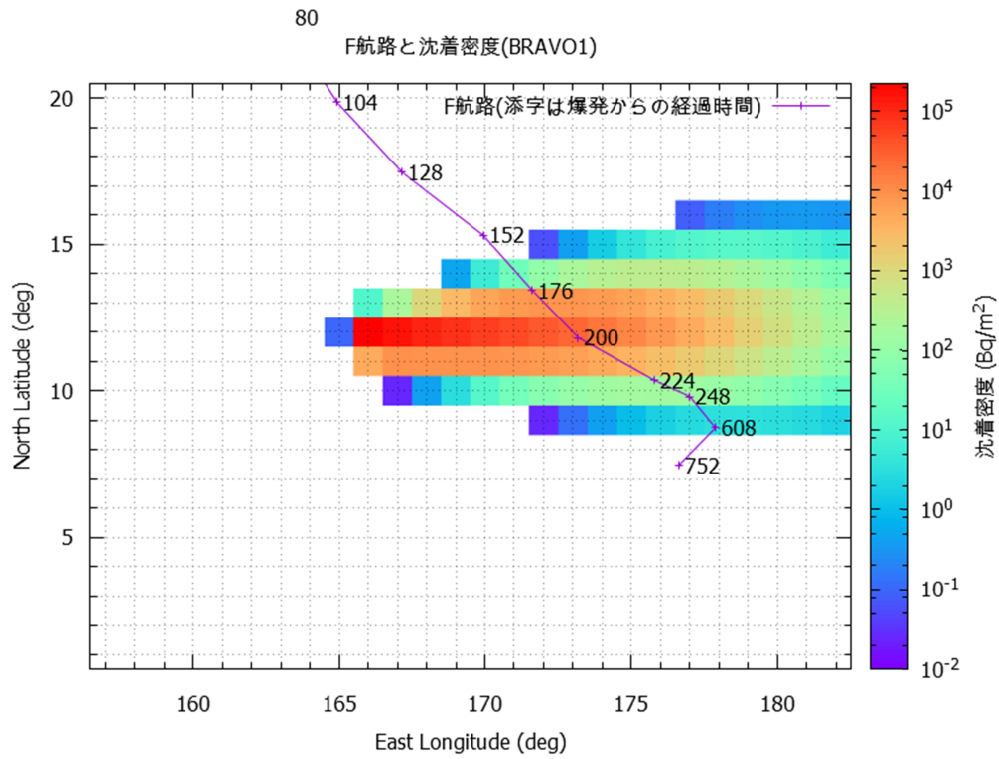


図 12 ブラボー実験における  $^{137}\text{Cs}$  沈着密度及び TOA (ピカール環礁方面の放射性降下物成分) と第二幸成丸の航路の重ね合わせ